

## 親と子の健康度調査アンケートのお願い

厚生労働科学研究「子ども家庭総合研究」

分担研究者 藤内 修二（地域医療振興協会）

21世紀の子どもと親の健康づくりを進める基本計画として「健やか親子21」が策定されて5年目を迎えました。この間に子どもと親の心身の健康状態が、どれくらい改善されたかを明らかにし、今後の母子保健サービスの充実に役立てるために、厚生労働省の「健やか親子21」中間評価の一環として、調査を実施しています。

つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、お子さんの健康度などについてのアンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。ご記入いただいた内容は、集計して分析に用いるほか、自治体によっては今回の健診にも活用されますが、その他の目的には使用いたしません。ご記入いただいたアンケートは、健診会場で係員にお渡しください。

なお、このアンケートで「お子さん」というのは、今回、3, 4か月健診を受けられるお子さんのことを指します

問1 お子さんは何番目のお子さんですか。

1. 第1子    2. 第2子    3. 第3子    4. 第4子以降 (            )

問2 お子さんの性別      男 ・ 女

このお子さんを妊娠、出産した時の状況について、お伺いします。

問3 出産はどこでされましたか。

1. 病 院    2. 診療所（産科医院）    3. 助産所    4. その他 (            )

問4 産科施設では母児同室でしたか。

1. 24時間同室    2. 日中のみ同室    3. 別室

問5 お子さんの出生時の身長と体重を教えてください（母子健康手帳でご確認ください）

身長 \_\_\_\_\_ cm                  体重 \_\_\_\_\_ g

問6 妊娠・出産についての状況はいかがでしたか。

1. とても満足している                  2. 満足している  
3. 満足していない                          4. 全く満足していない

問7 妊娠・出産について満足している項目に○を、満足していない項目に×つけてください。

(いくつ○や×をつけてもかまいません)

項目	評価
1. いいお産をするための自分自身の頑張り (妊娠中)	
2. いいお産をするための自分自身の頑張り (お産)	
3. 産科施設に関する情報	
4. 専門職 (産婦人科医, 小児科医, 助産師, その他) による継続的な関わり	
5. 産婦人科医の技術	
6. 産婦人科医の指導・対応	
7. 助産師の技術	
8. 助産師の指導・対応	
9. 産婦人科医, 助産師以外の産科施設スタッフの技術	
10. 産婦人科医, 助産師以外の産科施設スタッフの指導・対応	
11. 産科施設の設備や食事等の快適さ	
12. 保健センター・保健所等のサービス	
13. 夫の理解や対応	
14. その他の家族・親族の理解や対応	
15. 友人の理解や対応	
16. 職場の理解や対応	
17. 社会の理解や対応	
18. 妊娠中の受動喫煙への配慮	
19. その他 ( )	

問8 次のお子さんを産みたいと思いますか。

1. はい 2. どちらかといえば, はい 3. どちらかといえば, いいえ 4. いいえ

問9 妊娠しているとわかった時のあなた(お母さん)の喫煙はどうでしたか。

1. なし 2. あり (1日 本)

問10 妊娠中のあなた(お母さん)の喫煙はどうでしたか。

1. なし 2. あり (1日 本)

問 11 妊娠しているとわかった時のあなた(お母さん)の飲酒はどうでしたか。

1. なし      2. あり

- └▶ 1. 月に1~2回      2. 週に1~2回  
3. 週3回以上

問 12 妊娠中のあなた(お母さん)の飲酒はどうでしたか。

1. なし      2. あり

- └▶ 1. 妊娠中に10回未満      2. 月に1~2回  
3. 週に1~2回      4. 週3回以上

問 13 生後1か月時の栄養法はどうでしたか。

1. 母乳      2. 人工乳      3. 混合

現在の子育ての状況についてお伺いします。

問 14 現在の子育ての状況はいかがですか。

1. 満足している      2. まあ満足している  
3. あまり満足していない      4. 満足していない

問 15 お母さんはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。

1. はい      2. いいえ      3. 何ともいえない

問 16 お母さんは育児に自信が持てないことがありますか。

1. はい      2. いいえ      3. 何ともいえない

問 17 お母さんは子どもを虐待しているのではないかと思うことがありますか。

1. はい      2. いいえ      3. 何ともいえない

↓

それは、どのようなことですか。

1. たたくなど      2. 食事を長時間与えないなどの制限や放置  
3. しつけのし過ぎ      4. 感情的な言葉      5. その他(      )

問 18 お父さんは育児をしていますか。

1. よくやっている      2. 時々やっている      3. ほとんどしない      4. 何ともいえない

問 19 お父さんはお子さんとよく遊んでいますか。

1. よく遊んでいる      2. 時々遊ぶことがある      3. ほとんど遊ばない

問 20 お母さんにとって日常の育児の相談相手は誰ですか。

(いくつか○をつけてもかまいません)

1. 夫婦で相談する
2. 祖母 (または祖父)
3. 近所の人
4. 友人
5. かかりつけの医師
6. 保健師や助産師
7. 保育士や幼稚園の先生
8. 電話相談
9. インターネット
10. 誰もいない
11. その他 ( )

問 21 お子さんを寝かせ始める時は、どのように寝かせていますか。

1. あおむけ寝
2. うつぶせ寝
3. 決めていない
4. その他 ( )

問 22 かかりつけの医師はいますか。

1. はい
2. いいえ
3. 何ともいえない

問 23 あなた (お母さん) の現在の喫煙はどうか。

1. なし
2. あり (1日 本)

問 24 夫 (お父さん) の現在の喫煙はどうか。

1. なし
2. あり (1日 本)

問 25 最後に、記入していただいた方のお子さんとの続柄をお書きください。

1. 母親
2. 父親
3. 祖父母
4. その他

ご協力ありがとうございました

## 親と子の健康度調査アンケートのお願い

厚生労働科学研究「子ども家庭総合研究」

分担研究者 藤内 修二 (地域医療振興協会)

21世紀の子どもと親の健康づくりを進める基本計画として「健やか親子21」が策定されて5年目を迎えました。この間に子どもと親の心身の健康状態が、どれくらい改善されたかを明らかにし、今後の母子保健サービスの充実に役立てるために、厚生労働省の「健やか親子21」中間評価の一環として、調査を実施しています。

つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、お子さんの健康度などについてのアンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。ご記入いただいた内容は、集計して分析に用いるほか、自治体によっては今回の健診にも活用されますが、その他の目的には使用いたしません。ご記入いただいたアンケートは、健診会場で係員にお渡しください。

なお、このアンケートで「お子さん」というのは、今回、1歳6か月児健診を受けられるお子さんのことを指します。

問1 お子さんは何番目のお子さんですか。

1. 第1子    2. 第2子    3. 第3子    4. 第4子以降

問2 お子さんの性別      男 ・ 女

このお子さんを妊娠、出産した時の状況について、お伺いします。

問3 出産はどこでされましたか。

1. 病院    2. 診療所 (産科医院)    3. 助産所    4. その他

問4 お子さんの出生時の身長と体重を教えてください (母子健康手帳でご確認ください)

身長 \_\_\_\_\_ cm      体重 \_\_\_\_\_ g

問5 妊娠・出産についての状況はいかがでしたか。

1. とても満足している      2. 満足している  
3. 満足していない      4. 全く満足していない

問6 妊娠しているとわかった時のあなた (お母さん) の喫煙はどうでしたか。

1. なし    2. あり (1日      本)

問7 妊娠中のあなた (お母さん) の喫煙はどうでしたか。

1. なし    2. あり (1日      本)

問8 妊娠しているとわかった時のあなた (お母さん) の飲酒はどうでしたか。

1. なし    2. あり

↳ 1. 月に1~2回    2. 週に1~2回    3. 週3回以上

問9 妊娠中のあなた（お母さん）の飲酒はどうでしたか。

1. なし      2. あり

- ↳ 1. 妊娠中に10回未満      2. 月に1～2回  
3. 週に1～2回      4. 週3回以上

現在の子育ての状況についてお伺いします。

問10 現在の子育ての状況はいかがですか。

1. 満足している      2. まあ満足している  
3. あまり満足していない      4. 満足していない

問11 お母さんはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。

1. はい      2. いいえ      3. 何ともいえない

問12 お母さんは育児に自信が持てないことがありますか。

1. はい      2. いいえ      3. 何ともいえない

問13 お母さんは子どもを虐待しているのではないかと思うことがありますか。

1. はい      2. いいえ      3. 何ともいえない

↓

それは、どのようなことですか。

1. たたくなど      2. 食事を長時間与えないなどの制限や放置  
3. しつけのし過ぎ      4. 感情的な言葉      5. その他(      )

問14 お父さんは育児をしていますか。

1. よくやっている      2. 時々やっている      3. ほとんどしない      4. 何ともいえない

問15 お父さんはお子さんとよく遊んでいますか。

1. よく遊んでいる      2. 時々遊ぶことがある      3. ほとんど遊ばない

問16 日常の育児の相談相手は誰ですか。

1. 夫婦で相談する      2. 祖母（または祖父）      3. 近所の人      4. 友人  
5. かかりつけの医師      6. 保健師や助産師      7. 保育士や幼稚園の先生  
8. 電話相談      9. インターネット      10. 誰もいない  
11. その他(      )

問17 お子さんを寝かせ始める時は、どのように寝かせていますか。

1. あおむけ寝      2. うつぶせ寝      3. 決めていない      4. その他(      )

問18 かかりつけの医師はいますか。

1. はい      2. いいえ      3. 何ともいえない

問19 休日や夜間にお子さんが急病の時、診察してもらえる医療機関を知っていますか。

1. 知っている      2. 知らない

問20 あなたは心肺蘇生法(心臓マッサージなどの救急処置)を知っていますか。

1. 知っている      2. 少し知っている      3. 知らない

問 21 これまでに乳幼児健診は主にどこで受けましたか。

1. 保健センターや保健所の集団健診    2. 開業医・診療所    3. 病院  
4. 受けていない    5. その他 (                      )

問 22 健診を受けた感想はいかがですか。 (あてはまるもの全て○をつけてください)

1. 信頼がおけて安心できた    2. 医師や保健師の話が勉強になった  
3. 栄養士の話がためになった    4. 心理士の相談がためになった  
5. もっとゆっくりした時間が欲しかった    6. 個別の相談がしたかった  
7. 決まりだから受けた    8. 知っていることばかり教えられた  
9. 形式的だった    10. 友達ができて良かった    11. その他 (                      )

問 23 BCG接種を済ませましたか。 (母子健康手帳で確認してください)

1. はい    2. いいえ

↓

接種したのはいつですか。

1. 生後6か月以内    2. 6か月～1歳    3. 1歳以降

問 24 三種混合の予防接種 (I期3回) を済ませましたか。

1. はい    2. いいえ

↓

I期3回が済んだのはいつですか。

1. 1歳まで    2. 1歳～1歳6か月    3. 1歳6か月以降

問 25 麻疹 (はしか) の予防接種を済ませましたか。

1. はい    2. いいえ

↓

接種したのはいつですか。

1. 1歳まで    2. 1歳～1歳3か月まで  
3. 1歳3か月～1歳6か月    3. 1歳6か月以降

問 26 あなた (お母さん) の現在の喫煙    1. なし    2. あり (1日    本)

問 27 夫 (お父さん) の現在の喫煙    1. なし    2. あり (1日    本)

問 28 子どもの事故について、お尋ねします。 あてはまるもの1つに○をつけてください

1) 1歳から14歳までの子どもは、病気で亡くなるよりも事故で亡くなっている子どもの方が多いことを知っていましたか。

1. はい    2. いいえ

2) ベビー用品やおもちゃを購入するとき、デザインよりも安全性を重視していますか。

1. はい    2. いいえ

3) かかりつけの医療機関や緊急時の連絡先がすぐにわかるようにしてありますか。

1. はい    2. いいえ

4) 子どもを家に一人残して出かけることや、車の中に一人で乗せておくことがありますか。

1. はい    2. いいえ    3. 該当しない

- 5) 自動車に乗るときは、チャイルドシートを後部座席に取り付けて乗せていますか。  
1. はい 2. いいえ 3. 該当しない
- 6) バケツや洗面器や洗濯機に水をためておくことがありますか。  
1. はい 2. いいえ
- 7) 浴槽に水をためたままにしないように注意していますか。  
1. はい 2. いいえ 3. 該当しない
- 8) 浴室のドアには、子どもが一人で開けることができないような工夫がしてありますか。  
1. はい 2. いいえ 3. 該当しない
- 9) 敷布団は硬めの物を使用していますか。  
1. はい 2. いいえ
- 10) タバコや灰皿はいつも手の届かないところに置いていますか。  
1. はい 2. いいえ 3. 該当しない
- 11) ピーナッツやあめ玉などは手の届かないところに置いていますか。  
1. はい 2. いいえ
- 12) ボタン型電池や硬貨、ピアスなどの小物を手の届かないところに置いていますか。  
1. はい 2. いいえ
- 13) 医薬品、化粧品、洗剤などは子どもの手の届かないところに置いていますか。  
1. はい 2. いいえ
- 14) テーブルクロスを使用していますか。  
1. はい 2. いいえ
- 15) ポットや炊飯器は子どもの手の届かないところに置いていますか。  
1. はい 2. いいえ
- 16) 暖房器具（ストーブ・こたつなど）の熱が直接触れないようにしていますか。  
1. はい 2. いいえ 3. 該当しない
- 17) 階段に転落防止用の柵を取り付けていますか。  
1. はい 2. いいえ 3. 該当しない
- 18) 子ども用の椅子は安定の良いものを使用していますか。  
1. はい 2. いいえ
- 19) 子どもの指がドアに触れていないのを確認してから開閉していますか。  
1. はい 2. いいえ
- 20) 家具などの角の鋭い部分には、ケガをしないようガードがしてありますか。  
1. はい 2. いいえ
- 21) テレビ台のガラスの扉やビデオデッキのテープ口は、手や指が入れられないようにしてありますか。  
1. はい 2. いいえ 3. 該当しない
- 22) かみそり、包丁、はさみなどの刃物は使用したら必ず片付けていますか。  
1. はい 2. いいえ
- 問 29 最後に、記入していただいた方のお子さんとの続柄をお書きください。  
1. 母親 2. 父親 3. 祖父母 4. その他

ご協力ありがとうございました



## 親と子の健康度調査アンケートのお願い

厚生労働科学研究「子ども家庭総合研究」

分担研究者 藤内 修二 (地域医療振興協会)

21世紀の子どもと親の健康づくりを進める基本計画として「健やか親子21」が策定されて5年目を迎えました。この間に子どもと親の心身の健康状態が、どれくらい改善されたかを明らかにし、今後の母子保健サービスの充実に役立てるために、厚生労働省の「健やか親子21」中間評価の一環として、調査を実施しています。

つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、お子さんの健康度などについてのアンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。ご記入いただいた内容は、集計して分析に用いるほか、自治体によっては今回の健診にも活用されますが、その他の目的には使用いたしません。ご記入いただいたアンケートは、健診会場で係員にお渡しください。

なお、このアンケートで「お子さん」というのは、今回、3歳児健診を受けられるお子さんのことを指します

問1 お子さんは何番目のお子さんですか。

1. 第1子    2. 第2子    3. 第3子    4. 第4子以降

問2 お子さんの性別      男 ・ 女

このお子さんを妊娠、出産した時の状況について、お伺いします。

問3 出産はどこでされましたか。

1. 病院    2. 診療所 (産科医院)    3. 助産所    4. その他

問4 お子さんの出生時の身長と体重を教えてください (母子健康手帳でご確認ください)

身長 \_\_\_\_\_ cm      体重 \_\_\_\_\_ g

問5 妊娠・出産についての状況はいかがでしたか。

1. とても満足している      2. 満足している  
3. 満足していない      4. 全く満足していない

問6 妊娠しているとわかった時のあなた (お母さん) の喫煙はどうでしたか。

1. なし    2. あり (1日    本)

問7 妊娠中のあなた (お母さん) の喫煙はどうでしたか。

1. なし    2. あり (1日    本)

問8 妊娠しているとわかった時のあなた (お母さん) の飲酒はどうでしたか。

1. なし    2. あり

└─▶ 1. 月に1~2回    2. 週に1~2回    3. 週3回以上

問9 妊娠中のあなた（お母さん）の飲酒はどうか。

1. なし      2. あり

- └─▶ 1. 妊娠中に10回未満      2. 月に1～2回  
      3. 週に1～2回            4. 週3回以上

問10 1歳のお誕生日までお子さんを寝かせ始める時は、どのように寝かせていましたか。

1. あおむけ寝      2. うつぶせ寝      3. 決めていない      4. その他(            )

現在の子育ての状況についてお伺いします。

問11 現在の子育ての状況はいかがですか。

1. 満足している                      2. まあ満足している  
3. あまり満足していない          4. 満足していない

問12 お母さんはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。

1. はい      2. いいえ      3. 何ともいえない

問13 お母さんは育児に自信が持てないことがありますか。

1. はい      2. いいえ      3. 何ともいえない

問14 お母さんは子どもを虐待しているのではないかと思うことがありますか。

1. はい      2. いいえ      3. 何ともいえない

↓

それは、どのようなことですか。

1. たたくなど      2. 食事を長時間与えないなどの制限や放置  
3. しつけのし過ぎ      4. 感情的な言葉      5. その他(            )

問15 お父さんは育児をしていますか。

1. よくやっている      2. 時々やっている      3. ほとんどしない      4. 何ともいえない

問16 お父さんはお子さんとよく遊んでいますか。

1. よく遊んでいる      2. 時々遊ぶことがある      3. ほとんど遊ばない

問17 日常の育児の相談相手は誰ですか。

1. 夫婦で相談する      2. 祖母（または祖父）      3. 近所の人      4. 友人  
5. かかりつけの医師      6. 保健師や助産師      7. 保育士や幼稚園の先生  
8. 電話相談      9. インターネット      10. 誰もいない  
11. その他(            )

問18 かかりつけの医師はいますか。

1. はい      2. いいえ      3. 何ともいえない

問19 休日や夜間にお子さんが急病の時、診察してもらえる医療機関を知っていますか。

1. 知っている      2. 知らない



9) 子どもだけで川や池に遊びに行くことがありますか。

1. はい      2. いいえ

10) 医薬品、化粧品、洗剤などは子どもの手の届かないところに置いていますか。

1. はい      2. いいえ

11) ピーナッツやあめ玉などは手の届かないところに置いていますか。

1. はい      2. いいえ

12) タバコや灰皿はいつも手の届かないところに置いていますか。

1. はい      2. いいえ      3. 該当しない

13) 熱いものは子どもの手の届かないところに置いていますか。

1. はい      2. いいえ

14) ストーブやヒーターなどは安全柵で囲い、子どもが直接触れないようにしていますか。

1. はい      2. いいえ      3. 該当しない

15) かみそり、包丁、はさみなどの刃物は使用したら必ず片付けていますか。

1. はい      2. いいえ

16) 子どもの指がドアに触れていないのを確認してから開閉していますか。

1. はい      2. いいえ

17) お箸や歯ブラシなどをくわえて走り回ることがありますか。

1. はい      2. いいえ

18) 子どもが引き出しやドアを開け閉めして遊んでいることがありますか。

1. はい      2. いいえ

19) すべり台やブランコの安全な乗り方を教えていますか。

1. はい      2. いいえ

20) おもちゃで遊んでいるとき、危険なことをしていないか確認していますか。

1. はい      2. いいえ

21) ベランダや窓の側に、踏み台になるものがありますか。

1. はい      2. いいえ

22) 子どもの腕を強く引っ張ることがありますか。

1. はい      2. いいえ

問 26 最後に、記入していただいた方のお子さんとの続柄をお書きください。

1. 母親      2. 父親      3. 祖父母      4. その他

ご協力ありがとうございました

## パネルディスカッション「今後の健やか親子21の推進に向けて」

### ～子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減～

平成18年3月18日（JAホール）

司会：大分県福祉保健部健康対策課 藤内修二

#### パネラー

市町村の立場から …… 沖縄市健康福祉部市民健康課 我如古 直哉保健師

保健所の立場から …… 東京都杉並区杉並保健所 長野 みさ子所長

小児科医の立場から …… 大分県小児科医会 東保 裕の介会長

母親の立場から …… 岡山市「おやこクラブ」前会長 小田 弥生

藤内：「健やか親子21」の中間評価では、評価指標がどう改善したかをみる訳ですが、評価指標の推移だけでは、「健やか親子21」の取り組みの評価は不十分です。「国民運動」として、「健やか親子21」がどう推進されているのかを評価するには、それぞれの立場でどのように取り組まれているか、そのプロセスを評価することも重要です。

このパネルディスカッションでは、市町村、保健所、小児科医会、そして母親の立場でどう取り組まれているかを報告していただき、今後の推進に向けての課題を皆さんと議論したいと考えています。

「健やか親子21」は、4つの課題があるわけですが、今回のこのパネルディスカッションでは、そのうちの4つ目の課題であります「子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減」をテーマに、虐待予防やお母さんの育児不安の軽減についての取り組みを中心に報告いただこうと考えています。

では、さっそく、市町村の立場でということで、沖縄市の保健師の我如古直哉さんから報告をいただきたいと思います。我如古（がねこ）さんは見てのとおり、男性ですが、男性の保健師は沖縄県では珍しくないの

ですが、皆さんとてもいい活動をされていらっしゃいます。では我如古さん、よろしく願いいたします。

我如古：今日、このテーマで報告するのですが、「普段やっている取り組みを言えよ」と上司に言われたので、皆さんも楽しみながら聞いてもらいたいと思います。

沖縄市は人口が128,635人で、那覇市に次いで2番目に人口が多く、中部の中核都市としてがんばっています。面積は49.0km<sup>2</sup>と小さいのですが、その面積の3割が軍用地となっています。高齢化率は13.4%と若い人が多い自治体です。また、国際文化都市、観光都市宣言をしまして、いろいろな国の方が住んでいます。2月末で39カ国の外国人の方が住んでいます。沖縄市は10代の妊婦さんも多いです。16年度の妊娠届出数は1,800を少し超えたくらいですが、その中で19歳以下の母親が73名いました。

沖縄市では、平成8年に沖縄市総合計画ができたのですが、その中で、保健福祉の総合計画として「沖縄市地域保健福祉計画」が策定されました。この時に、市町村へ母子保健サービスが移行するというので、沖縄市の母子保健計画を策定しようということにな

りました。当時、コザ保健所、いまは中部福祉保健所になっているのですが、その地域保健推進特別事業で、沖縄市をモデル自治体に設定してヘルスプロモーションを目指した保健活動計画を策定しようということで、一緒に取り組んでいきました。

この母子保健計画の策定を通して、保健所では母子保健計画策定マニュアルを作成して、それが管内市町村や全県的に普及されています。

その当時は先駆的な母子保健計画と言われていました。先駆的だというのは、実際に沖縄市のサービスを受けている育児サークルや母親学級の参加者に意見を聞いて、また、それ以外の地域のボランティアとか保健医療福祉関係、自治会など、関係者の声をもとに、「あるべき姿」、母子の理想の姿、「安心して楽しく育児をできる」条件を、母子保健検討会議で検討していきました。

策定後は、その検討会議のメンバーがそのまま母子保健推進協議会のメンバーとなって、母子保健計画を推進しています。

これが、母子保健計画です。計画の理念は「すべての子どもが健やかに生まれ育ち、親と子が健康で生きていく喜びと幸せを感じることができる」ということです。妊産婦と乳幼児に分けて目標を立てて、基本方針をふまえて、それぞれ対策を立てています。市の行政だけでなく、地域社会にできること、私たちにできること、家庭でできることを考えて、それぞれで対策を立てています。

当時、市がやっていた母子保健事業としては、母子手帳の交付、健診、健康相談、発達相談、健康教育、母親学級、思春期教育、訪問指導がありました。

それから5年後に「健やか親子 21」を踏まえて、母子保健計画の見直しをしました。その時、総合計画の見直しや児童育成計画、障害者保健福祉計画の策定もあり、市民全体

にアンケートを実施したのですが、そのアンケートを利用して、市民の子育てに関する状況を一緒に把握することができました。

母子保健推進協議会のメンバーもそのまま継続して、計画を見直すことができました。その時新しく委員会を作ったのが「広報委員会」で、子育て応援本「はっぴいBOOK」というのを発刊して、市内のサービスや医療機関の情報を載せています。これは毎年、新しい情報にどんどん更新しながら、現在も作っていています。その見直しの段階でうちの課だけではなくて、他の課の母子に関するサービスも充実していきました。ファミリーサポートセンターとか育児サークル、子育てサロンというのもできています。ブックスタートも市立図書館の主催で乳児健診の会場で実施しています。

現在やっていることで、母子保健計画から変更があった取り組みについて紹介します。当初、すこやか教室、母親学級といったのですが、これを、父親の参加を呼びかけるために、両親学級に変えて現在も実施しています。あとは、「すこやかママの集い」、「すくすく子育て教室」があるのですが、これは、子育て支援センターなどで開催し、全部向こうにお任せするという形で、現在もやっています。

「すこやかママの集い」は「産後ママ教室」として、ちょっと内容を変えて今も実施していています。あと思春期保健は、内容を拡大しています。このあたりはまた後で詳しく説明したいと思います。あとは予防接種の無料化が平成15年度から、乳幼児医療の年齢拡大も平成15年11月から行われています。

ちょっと余談なのですが、沖縄市には保健師が19名、男性が自分を含めて2人です。保健師が異動できる課は、市民健康課と高齢福祉課、介護保険、障害福祉課、精神福祉です。自分たちは地区担当で行っているのですが、それが10名います。人口が約13万人

なので、ひとりの保健師が1万3千人あまりを担当しています。多いですね。

母子担当は自分を含めて3名いるのですが、2人は育休中です。なぜ私がここに来たか、わかりますよね。自分しかいないんです。

では、育児不安の軽減に対する取り組みとして、乳児健診で行っていることを説明したいと思います。乳児一般健診や1歳6か月健診、3歳児健診を行うたびに、保健師とスタッフの間で、健診に不具合があったら毎回直すということで、試行錯誤でやっています。毎回やるたびに健診のやり方が少しずつ変わってきていますね。

母子保健計画が始まって変わったこととして挙げられるのが、育児相談をしやすい環境づくりです。受診者が、必ず保健師を通る配置にしています。問診と結果説明と、保健相談とに分けて、必ず保健師を通るような形にしています。あと、乳児健診、一般健診の終了後に小児科医・検査技師・看護師・栄養士・保健師、あと母子保健推進員を交えてスタッフミーティングを行って、今日の健診で何か気になるお母さんはいなかったかなど、情報の共有をしています。

また、年に1回、健診担当医師を呼んで、健診結果報告会を行っています。地区担当の保健師は、虐待が疑われるケースが健診を受ける時には、事前に情報交換をして保健師内で情報を共有しています。その情報を当日、医師と看護師にも伝えて、身体的チェックとか、母親のチェックも行っています。

あとは乳児一般健診の後期の受診者(生後9~10ヶ月)を対象に、歯科衛生士を配置して歯科相談をやっています。1歳6か月健診では、臨床心理士を配置して、子ども相談というのですけれど、言語とか精神発達などをスクリーニングしています。必要に応じて、言葉の相談や障害保育へとつないでいきます。

あと1歳6か月健診から3歳児健診までの約2年間、3歳児健診が終わると就学児健診と約2~3年間が開きますので、連絡メモを配布しています。母子保健担当者の連絡先を電話番号だけではなく、メールのアドレスも載せています。今は携帯電話をお母さんたちはそれぞれ個人で持っていますので、メールでの相談の係を作って、対応しています。あと外国人の方も多いということで、受診票を英訳したり、必要時には通訳の配置も行っています。

今、自分は健康教育を担当しているのですが、その中で工夫点を説明したいと思います。まず、すこやか教室と産後ママ教室については、母親同士の交流や不安、悩みを出し合うことでストレスを軽減することを目標としています。

その中で、すこやか教室、両親学級は交換日記を用いています。スタッフとの交換日記ですが、母親だけでなく、父親・家族用も作成して、父親・家族とも、交換日記で悩みや不安を聞き、アドバイスをしています。

また、母子保健計画の推進協力のメンバーに歯科医師がいるのですが、その方がボランティアで妊娠中の歯の健康について、講話を行ってくれています。

更に、父親に妊婦体験シミュレーターをつけて、妊婦の大変さを体験してもらっていますが、このシミュレーターも母子保健推進員が手づくりで作ってくれました。

産後ママ教室は、育児不安軽減とか、産後うつを予防を目的で行っているのですが、その中で、最近内容を変えたのは、ふれあいを楽しむタッチケアを入れるようにしたことです。

これらの教室の流れは、自由に話す場を持って、その後に講義とか実習、絵本の読み聞かせ、交換日記、個別相談を行っています。

その交換日記やアンケートから出た意見

を紹介したいと思います。沖縄市は転入者が多く、本土の方がいらっしゃったり、本土の女性が沖縄の方と結婚して沖縄市で生活しているというケースもあります。こうした方々は、なかなか友達が周囲にいないという方が多いのですが、「不安だったけれど、この教室に参加して、いろいろな妊婦さんと話ができよかったです」とか、夫からの意見で、父親としてもっと心構えが必要だとか、自分ができるだけ手助けしたい、という意見もあります。産後ママ教室の方では、託児を用意しているのですが、赤ちゃんを少しでも預かってもらったので、助かりましたという意見もありました。

これが教室の風景です。この日はたまたまお父さんが出席したのですけれど、上の子を連れてきていたので、後ろで2人で座っています。1人の方はグループに入ってもらって、いろんなお母さんの意見とか不安の声とかを聞いています。これは、助産師さんが絵本の読み聞かせをしているところです。

また、子どもたちからの関わりを増やそうということで、思春期教室を市内小中学校、全校対象に実施しています。前は中学校だけだったので、小学校にも拡大しています。命の大切さを伝える赤ちゃん抱っこ体験とかミルク体験、協議会には産婦人科の助産師さんもいますので、その方と協力して、新生児室見学とか、後から出てくる母子保健推進員の活動として、思春期教育劇を子どもたちに見てもらったりしています。さらに、自分や相手を大事にする心を育むということで、タバコの授業とか性教育、エイズ教育を行っています。これは、小学校の赤ちゃん抱っこ体験とミルク体験の様子です。このとき、育児サークルのメンバーに声をかけたら、最近生まれた子と妊娠中のお母さんが参加してくれました。

タバコの授業では、ニコチンに扮して、タ

バコの害を教えたり、ロールプレイでタバコを断る練習をしたりしています。

こうした活動のなかで、教室や計画策定の場面でも、住民の意見を出してもらうために、ブレインストーミングの様々な手法を活用しています。平成10年から12年にかけて特別事業を沖縄市で行っておりまして、食生活の教育だったのですが、この中でライフスキル教育の手法を使っています。この際、教育委員会をはじめ他との連携も盛んに行われておりました。

このライフスキル教育の手法について、JICAも高く評価をしてくれ、遠く離れたメキシコでも、ライフスキル教室を実践してきました。その際、現地の人と間違えられて、メキシコの人に「お前、メキシコ人だろう」と言われて、違うと言ったら、「じゃあ親がメキシコ人だろう」と言われました。色が黒かったり、いろんなところが日本人離れているものですから、間違えられても仕方ないのですが・・・

今度は母子保健推進員との協同での取り組みを紹介します。

沖縄市の母子保健推進員、始まりは昭和48年、助産師12名が保健所より委託を受け、訪問活動を始めたのがきっかけで、その後、自治会・老人会に呼びかけて昭和63年に「ひまわり会」というのを結成しています。様々な事業の推進が、先ほどの乳児健診やすこやか教室での身体測定や託児などをお願いしているのですが、健診未受診児に対しては、家庭訪問をし、健診の受診勧奨をしています。地域では、子育ての悩みを持つ若いお母さんに対してよき相談相手になっているのが推進員ですね。

毎月定例会を開いて、情報交換や勉強会を開いているのですが、その中で自分たちも育児のベテランですから、育児をしていた頃のことを思い出して、「机に頭を打って危なか



ったよねー」とか、いろんなことを話し合った中で、じゃあ、家庭内の事故防止の教材として、ミニチュアハウスを作ってみようということで、ミニチュアハウスが作られました。また、すこやか教室の参加者にわかりやすく、お腹の赤ちゃんのことをわかってほしいということで、胎児模型を作りました。25周年記念の式典では、ひまわり劇団というのを作って、思春期教育劇を作りました。そのときの写真がこれですね。

これがミニチュアハウスです。「危ない家」と呼ばれています。このミニチュアハウスとパネルを目立つように黄色で作っているのですが、健診会場とかに置いて説明をしています。一人ひとり手作りで、紙粘土とか布きれとかを使って作っています。これが最近、教育媒体コンテストで厚生労働大臣賞を受賞しています。

これが思春期教育劇「未来へ」を上演中の写真です。50～60歳になる「お姉さま方」なのですけれど、娘の中学校、小学校の制服を借りてきて、女学生に扮して頑張ってくれています。主役がこの方ですね。この方が、妊娠して出産するというストーリーで、周りの人に支えられながら産まれてくるんだよ、ということで、命の大切さを伝えています。

現在、母子保健推進員は、県内で最も人数が多い52名で、活動しているのですが、保健師との勉強会もどんどん増えてきて、訪問時のコミュニケーションのとり方とかを勉強しています。後は他の市町村とか海外視察団の受け入れですね、メキシコとかボリビアとか東アフリカなどが来ています。

さきほど、妊婦体験シミュレーターを紹介しましたが、小学校で教材に使っている紙芝居も作成しています。今年度、レンタル用の抱っこ紐を作成しました。これは乳幼児健診に赤ちゃんを抱っこして、もう一人の子を連れて受診するお母さんもいるのですが、危な

いということで、抱っこ紐を作って健診会場でレンタルしてあげようということになり、作成したものです。そういうきっかけで作ったのですが、昨日、第1作ができたそうです。

あとは車椅子の清掃です。沖縄県の小児発達センターが沖縄市にあるのですが、そこで、車椅子の清掃などのボランティア活動にも参加しています。

この他、地域への活動を活性化するために、平成16年度に沖縄県母子保健推進連絡協議会が発足したのですが、初代の会長には沖縄市の推進員さんが選ばれています。

4月に研修会があったのですが、育児不安、産後うつ、思春期保健など、地域での役割を担うことが重要だと他の市町村の推進員に呼びかけていました。沖縄市の母子保健推進員の中にもこういった取り組みが必要だなという心が芽生えてきています。

藤内：どうもありがとうございました。平成8年に母子保健計画を策定して以来、10年間の間に、実践と見直しを繰り返しながら母子保健事業をどんどん進化させていった様子がうかがえます。それから母子保健推進員、最初は助産師さんからスタートしているのですが、今は、助産師さんばかりというわけではないですよ。

我如古：今は助産師はいなくて、看護師が一人いるだけです。

藤内：あとは普通のお母さんたち、おばさんたちということですね。

我如古：お姉さま、ということにしています。

藤内：はい。ありがとうございました。

では、続きまして、杉並区杉並保健所の長野所長さんから、杉並区の取り組みだけではなく、実は全国保健所長会で虐待予防対策について平成14年から3年間、研究班を主宰されておりまして、そうした全国保健所長会の取り組みも踏まえて、保健所における虐待予防、育児不安への取り組みについてご報

告をいただきたいと思います。では、よろしくお願いたします。

**長野：**ご紹介いただきました、杉並保健所の長野と申します。

平成13年度に、「子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減」という課題に、全国保健所長会として取り組もうということになりました。その際、全国の保健所に調査を行ったのですが、児童虐待などに関してはまだまだ温度差がありました。

十分な取り組みができていないということで、14年から3年間、「児童虐待予防対策における保健所の役割に関する研究」班を立ち上げて取り組みました。当時、東京都多摩立川保健所におりましたが、全国の保健所から10人ほどの保健所長にメンバーとして加わってもらいました。

研究班の目的は「健やか親子21」と同じで、主要課題である「子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減」を児童虐待対策ということでやってみよう、ということです。児童虐待防止法で保健所は、児童相談所等と連携、協力の下に児童虐待予防対策を推進するということが明記されたこともこうした取り組みを後押ししてくれました。

母子保健事業や精神保健対策事業の中で、虐待の発生予防から早期発見・早期対応、そしてアフターケアまで総合的に推進することと、市町村を応援しようということを目的に掲げました。

研究内容としては、先駆的モデル事業、フォーラムの開催、実態把握のためのアンケートの3つでした。最初の先駆的モデル事業では、皆さんもご存知だと思のですが、南多摩保健所で、子どもの虐待予防活動の展開という、日本看護協会が後押しをしてくれている事業で、乳児健診のときに100項目にわたる育児不安や子育て支援に関するアンケートを実施しました。こうしたアンケートを

通して、子育て支援が必要なお母さんたちを抽出しようという研究事業です。もちろん、スクリーニングをただけでは、うまくいきませんので、社会資源の開発を並行してやってくれました。あと、大阪は児童虐待対策のメッカなのですが、マザーグループというようなことを熱心にやられています。富田林保健所では、未熟児の早期全数訪問ということを始められています。

東京都の練馬区保健所の取り組みですが、練馬区というところは東京の中でも人口密集地帯で、お子さんが年間6千人くらい生まれるようなところで、その中で保健師さんたちは、年間100件以上の児童虐待のケースを持つというような状況です。そこで、マニュアルの作成とか、処遇困難事例の検討会をやっています。最近、新生児訪問指導にEPDSを入れるというようなことを始めています。

2番目のフォーラムの開催ですが、やはり保健所長会として、全国の市町村の保健師さんや、あるいは児童相談所の方、保育士さん、そういう方たちと、いろいろ意見交換をしたということで、1年目はできなかったのですが、2年目、3年目と、先駆的モデル事業などを発表しながら全国を行脚しました。

そういう取り組みをやって、3年目には全国の保健所にアンケートを取ってみましたところ、大半の保健所で児童虐待予防対策というのが進んでいるということがわかりました。

その中で、どんな問題点があるかというようなことを最終年度として把握したのですが、やはりマンパワー不足というようなことが真っ先に挙げられています。ついで、関わる職員の技術不足、専門職の確保の困難さ、重症度の判定の困難さ、関係機関との連携というようなことが、問題点として浮かび上がりました。

今、保健所は多様な組織形態をとっています。福祉部門と統合された保健所もありますし、県型保健所もありますし、政令市の保健所もあります。保健所の組織形態によっていろいろ悩みが違うのではと考えて分析しましたが、はっきりした差は出ませんでした。

こうした研究から4つほどの提言をして3年間を終わりました。ひとつ目の提言は、母子保健事業に関わる保健師の質・量が足りないので、児童虐待予防の視点を入れて質を高めて量を増やしていくということを、保健所として、市町村に向けて働きかける必要があるということ。

2番目は、児童虐待予防というと、虐待の悲惨なところだけが目についてしまいますが、育児支援というようなことから始めて、児童虐待を予防していくというようなことを、保健所としては、マスコミなどに向けても発信していくべきではないか。

3番目は、いつも言われることですが、保健・医療・福祉・教育とのネットワークの強化です。これが単なるネットワークではなくて有機的に連携していることが、キーポイントであると考えます。

4番目は、児童虐待に関して、スーパーバイザーが保健所などでも求められていますし、市町村ではなおさら、求められているということです。

今後の課題としては、平成16年度から3年間、福岡市の東区保健福祉センター（保健所）の所長である鈴宮先生が、児童虐待防止を目的とした「養育支援家庭の早期発見・介入援助のシステムづくりに関する研究」ということで、これからこのあとにお話のあるような、医療機関でハイリスクの人たちの養育支援をどう進めるか、そんなことなどを含めた研究をされています。この辺は、後で報告

書という形で全国に配られるのではないかと思います。

もうひとつ、せっかく杉並に来たのだから、杉並の地域における虐待対策のあり方を少し紹介したいと思います。

杉並区は保健所はひとつですが、保健センターが5つありまして、そこでかなり系統だてて児童虐待対策が考えられております。「すこやか親子セレクト100」の中に2つほど杉並保健所の事例が入っております。

保健センターの児童虐待対策としては、孤立した子育てにならないような仲間づくり、子育ての不安感・負担感が強かったり、子どもがかわいくない保護者への支援、育てにくい子ども・ハイリスクの子どもを持つ保護者への対応、保護者の性格や精神的な問題に対しての援助というような形で関わっています。列記した取り組みの最後の方になればなるほど、どちらかというとな精神障がい者への対応が得意な保健所などの役割になってくるのかなと思うのですが、杉並保健所と保健センターはその辺が合体しておりまして、少し見分けがつかないかもしれません。

保健センターでは、母子保健事業による児童虐待予防ということで、妊娠届から始まって母親学級、父親を巻き込むには、平日だけではまずいというので土曜パパママ学級をやっています。新生児産婦訪問などでは、産後うつなどメンタルの部分にも力を入れています。4ヶ月児健診ではEPDSをやっております。本来、EPDSは新生児訪問でやればいいのですが、4ヶ月児健診の受診率が95%以上ということで、ここを選んでいきます。こうした取り組みでスクリーニングされたお子さんたち、お母さんたちを、保護者の心の相談室やグループカウンセリング、自主グループ支援というような形で支援する

という体系ができております。

ハイリスクの人たちは、職員の気づき・発見、その辺からつながってきまして、子ども家庭支援センターというところが、ハイリスクの第1段の相談窓口になっています。

杉並区には杉並児童相談所があります。本来、東京都の児童相談所なのですが、杉並区にあるものだから、杉並の人たちはそこは自分たちの第1の受け皿だろうということで、そちらに行く事例もあるのだそうです。

一応、現在のところ子ども家庭支援センターの方が児童虐待の相談窓口になっておりまして、そこが中心になって、子育てネットワーク事業というような事業も立ち上がっております。要保護児童支援連絡協議会のようなものも立ち上がっております。そういう全体的な、保健所だけの仕事ではないのでなんだかまぜこぜになってしまいましたが、そういう仕事をしております。

**藤内:** どうもありがとうございました。杉並区保健所というのは特別区ですので、市町村の保健センターと性格としてはダブる部分があるのですが、ハイリスクアプローチを中心に紹介していただきました。

先ほどの沖縄市の取り組みが、どちらかといえばポピュレーションアプローチだったのに対して、ハイリスクアプローチとして、子育てネットワークで子どもや親を支える取り組みを紹介していただきました。

では、これから、大分県小児科医師会のペリネイタルビジットに向けての取り組みを、小児科医会の東保会長からご報告をいただきたいと思いますが、会場の皆さんの中にはペリネイタルビジットといわれても、似たような名前を聞いたことがあるが、ちょっとピンとこない、という方もいらっしゃるかと思います。大分県小児科医会では、このペリネ

イタルビジットを、ハイリスクアプローチというだけでなく、むしろポピュレーションアプローチとしてお母さんの育児不安の軽減、あるいは虐待予防につながる取り組みを展開できないかということで、平成13年から5年間、取り組まれています。今日は、5年間の取り組みについてご報告をいただきたいと思います。

**東保:** ただいまご紹介いただきました、大分県小児科医会とうぼ小児科医院の東保と申します。藤内先生、今日お呼びいただきまして、ありがとうございます。すごくタイムリーな形で、皆様にペリネイタルビジットという大分県が取り組んでいる事業を報告できることをとてもうれしく思います。

プレネイタルビジットなら知っているけれど、ペリネイタルビジットは知らないという方が多いと思いますけれども、これから紹介をしたいと思います。

第1例目、この方が、私のところで平成13年10月7日に初めてペリネイタルビジットの事業で来られた妊婦さんです。妊婦さんは宮崎の延岡の方で、夫は鹿児島県の指宿の方で、当時、二人が住んでいたのが、私の小児科医院がある大分県臼杵市（人口35,000人の城下町）で、そこには家族も親戚も友人も誰もいなくて、出産が不安でたまらなかった。それで、私のところで指導を受けた後は安心できて、それからずっとかかりつけになりました。第1子は宮崎の延岡市に里帰りでのお産でしたが、平成16年4月には第2子を臼杵市で出産しました。そして去年の9月に、長崎のほうへ転勤になりました。その間ずっと、その第2子も含めてかかりつけでした。

ペリネイタルビジットを実際に行った当初の感想・驚きは、1人の妊産婦さんと（夫